
基礎老化学会サーキュラー 第 119 号

日本基礎老化学会 Japan Society for Biomedical Gerontology

2022年8月15日 発行



COVID19 第7波が猛威を振るうさなかの7月27、28日、第45回日本基礎老化学会大会が細川昌則大会長のもと、京都で開催されました。オンサイトとオンラインのハイブリッド形式での開催でしたが、現地参加者は100名を越え、久しぶりに活発な討論のある学会となりました。次は11月に熊本で第43回シンポジウムが開催されます。こちらにも奮ってご参加いただきたいと思います。

これからも引き続きご支援をお願いするとともに、会員マイページからお気軽に学会改革へのご意見・ご要望を事務局にお寄せ下さい。

庶務理事 三浦 ゆり

【目次】

1. Topics

- ① 第45回 日本基礎老化学会大会が開催される →
- ② 日本基礎老化学会奨励賞を3名が受賞 →
- ③ 第48回（2025年）日本基礎老化学会大会 大会長を選出 →
- ④ 第45回（2024年）シンポジウム世話人を選出 →
- ⑤ 第33回日本老年学会総会（2023年）に分配金導入 →
- ⑥ 高齢者・高齢社会に関するワーキンググループ報告 →

2. 議事録

- ① 2022年度 第1回理事会議事録 →
- ② 臨時理事会議事録 →

3. 事務局からのお知らせ →

4. 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定 →

5. 会員動向 →

6. 賛助会員一覧 **new** →

1. Topics

① 第45回 日本基礎老化学会大会が開催される

7月27日（水）28日（木）に第45回日本基礎老化学会大会が細川昌則大会長の下、京都テルサ（京都市）で開催されました。3年ぶりに韓国から8名の研究者が来日し、日韓合同シンポジウム、一般講演、ポスター発表にご参加いただきました。また、第37回老化促進モデルマウス（SAM）学会学術大会との並行開催（SAM学会は28(木)29(金)の開催）となり、お互いの講演を聞きに行くことができるなど、基礎老化学会参加者にとっても有意義な開催となりました。これらの興味深い企画のためか、参加者142名のうち現地参加は118名を数え、口演会場、ポスター会場とも熱心に討論する場面が見られました。

② 日本基礎老化学会奨励賞を3名が受賞

理事、評議員、大会関係者による投票の結果、第45回 日本基礎老化学会大会において以下の3名が奨励賞を受賞しました。

澁谷 修一（国立長寿医療研究センター）

中村 庸輝（広島大学）

野崎 優香（東京理科大学）

（敬称略・五十音順）

③ 第48回（2025年）日本基礎老化学会大会 大会長を選出

2025年に開催予定の第48回日本基礎老化学会大会・大会長に東京都健康長寿医療センター研究所の堀田晴美先生が選出されました。本大会は、第34回日本老年学会総会との合同開催となる予定です。

④ 第45回（2024年）シンポジウム世話人を選出

2024年に開催予定の第45回日本基礎老化学会シンポジウム世話人に早稲田大学の千葉卓哉先生が選出されました。

⑤ 第33回日本老年学会総会（2023年）に分配金導入

新型コロナウイルス感染症による影響や企業経営の不安定さから十分な協賛金収入を見込めなくなったため、第33回日本老年学会では構成する7学会に対して、参加者1人につき1,500円の分担金を徴収することになりました。これは、学生や招待する講演者にも全員適応されます。そのため、第33回日本老年学会総会の実行委員会では、大会参加費について最低金額を設定し、各学会が任意に参加費を設定できることになりました。

⑥ 高齢者・高齢社会に関するワーキンググループ報告

第33回日本老年学会総会において、老年学会より「高齢者および高齢社会に関する提言」を行う予定です。提言のまとめの中で、基礎老化学会は、国際医療福祉大学の下澤達雄先生を中心に一章を担当することになっています。その内容の案を以下に示します。

基礎老化学会原稿案

【目的】

- 1) 老化の指標となりうるバイオマーカーを動物実験レベルのものとヒトでの検証が進んでいるものについて概説する。
- 2) バイオマーカー開発における老化の定義について明確化する。
- 3) 加齢による各種バイオマーカーの変化、変動についての概説を行う。

【内容】

- 1) リキッドバイオプシーや病理検査を含め広く老化の指標として研究されているバイオマーカーについて現状を紹介し、その問題点と解決する方法について述べる。特に論文化されていないもの、学会発表レベルのものも含めたいので基礎老化学会会員の研究成果をお寄せいただきたい。
- 2) 1)のような研究の際に老化の定義をどのようにしているかを論文の包括的レビューを含め概説する。レビューを行うには人員が必要なので若手の研究者数名をご推薦いただきたい。
- 3) 老化バイオマーカーの誤差要因 測定誤差、環境要因など考えられる要因について概説する。実際に実験、研究している現場から問題点について提起をいただき纏める。

2. 議事録

① 2022年度 第1回日本基礎老化学会理事会議事録

日 時：2022年6月7日（木）13:00-15:00

開 催：WEB開催（ZOOM）

出席者：石神、内田、遠藤、柿澤、杉本、福井、丸山、三浦（理事）、
大澤、細川（監事）、安田（会計理事補佐）

欠席者：石井、千葉（理事）、森（庶務理事補佐）、
町田（選挙管理委員会委員長）

議事：

1. 報告事項

- 1) 三浦庶務理事が、さらに 1 年間、毎日フォーラムへの事務委託が更新されることを報告した。
- 2) 細川大会長が、第 45 回（2022 年）大会準備状況について報告した。
- ✓ 韓国からもオンライン配信に参加することはできるのか。
→ 組織委員長と相談してまた回答する。
- 3) 石神理事長が、第 43 回（2022 年）シンポジウム準備状況について説明した。
- 4) 福井 IAGG2023 広報委員が、第 12 回（2023 年）アジア/オセアニア国際老年学会議（IAGG）について説明した。
- 5) 遠藤 IAGG 委員から、IAGG2029 の京都誘致についての協力依頼があった。理事、評議員に世界の IAGG 委員の名簿を送り、知り合いがいたら京都に投票してもらうよう連絡して欲しい、とのこと。
- 6) 石神大会長から、第 46 回（2023 年）大会準備状況および第 33 回日本老年学会総会・実行委員会の報告があった。
- 7) 石神理事長が、第 44 回（2023 年）シンポジウム準備状況を説明した。
- 8) 福井大会長が、第 47 回（2024 年）大会準備状況を説明した。
芝浦工大との共催にすると、学生が参加費無料で聴講することになるのか。
→ 大学にそのような取り決めはない。
→ 芝浦工大との共催は承認された。
- 9) 石神理事長が、編集委員会の報告を行った。
→ 46（2）大会号は例年通り、表紙をハードカバー印刷するか検討して編集委員長に報告することになった。
→ 46（3）号は、1 カ月遅れで発行することとなった。
- 10) 杉本委員長が、広報・ホームページ委員会について報告した。
→ 会員にツイッターをもっと活用するよう一斉メールを送る。
- 11) 柿澤委員長が、学术交流委員会について報告した。
生理学会は、老化に関してどのくらい関心があるのか。
→ 老化や加齢変化に関してはかなり興味を持っている。
- 12) 遠藤委員長が、あり方委員会は開催されていない旨、報告した。
- 13) 三浦庶務理事が、理事選挙の準備状況について報告した。

2. 審議事項

- 1) 内田会計理事が、2021 年度会計を報告した。
- 2) 大澤監事、細川監事が、監査を行い適正に使用されていることを確認した旨、報告した。

- 2021 年度会計報告と監査報告が承認された。
(承認 8／不承認 0)
- 3) 内田会計理事が、2022 年度予算を説明した。
 - ✓ 来年 1 月の理事会は対面で行うか、Web 会議にするかは、今後検討することになった。2022 年度予算には対面での理事会に必要な予算は組んでいない。
 - ✓ SSL 更新料を支出予算に組み込む。
 - 2022 年度学会予算、基金予算が承認された。
(承認 8／不承認 0)
- 4) 石神理事長が、第 45 回 (2022 年) 大会の会計監査に安田佳代先生 (東海大学) を推薦した。
 - 安田先生への変更が承認され、第 45 回 (2022 年) 大会の会計は大澤先生と安田先生が監査することになった。(承認 8／不承認 0)
- 5) 第 48 回 (2025 年) 大会 大会長を選出した。
 - ✓ 堀田晴美先生 (東京都健康長寿医療センター) が立候補された。
 - 堀田先生が承認された。(承認 8／不承認 0)
- 6) 第 45 回 (2024 年) シンポジウム世話人を選出した。
 - ✓ 丸山光生先生 (国立長寿医療研究センター) と千葉卓哉先生 (早稲田大学) が立候補された。
 - ✓ 一人が 2024 年でもう一人が 2025 年のシンポジウムということにするのはいかがか。
 - 2025 年のシンポジウムは次期執行部が決める方がよい。
 - 投票の結果、千葉先生に決定した。
(丸山先生 2 票/千葉先生 6 票)
- 7) 運営細則 一部改訂 (大会の演題登録と学会入会申込みについて)
 - ✓ 年次集会における正会員の演者の資格について「開催年度に年会費を納入した正会員」とする。
 - 一部改訂が承認された。(承認 8／不承認 0)
- 8) 理事選挙内規 一部改訂 (理事資格の見直し)
 - ✓ 理事の資格に「正会員歴 5 年以上」を追加する。
 - ✓ 理事の資格に「理事就任年度の 4 月 1 日現在、65 歳以下であること」と記載する。
 - ✓ 「選挙は 2 月中旬予定」を削除
 - 一部改訂が承認された。(承認 8／不承認 0)
- 9) 石神理事長が、高齢者及び高齢社会に関する検討WG報告と「日本基礎老化学会」の執筆内容について説明した。

→ 下澤達雄先生が執筆し、その補佐を理事長が指名することについて承認された。（承認 8／不承認 0）

3. 次回理事会は、来年 1 月末の予定

② 2022 年度 第 1 回臨時理事会議事録（第 46 回大会参加費について）

日 時：2022 年 7 月 4 日（金）15：00-16：00

開 催：WEB 開催（ZOOM）

出席者：石神、石井、内田、遠藤、柿澤、杉本、千葉、福井、丸山、三浦
（理事）、細川（監事）、森、安田（理事補佐）

欠席者：大澤（監事）

石神理事長より

○第 33 回日本老年学会総会の第 8 回実行委員会の議事録の説明が行われ、大会参加費の下限值として

事前 12,000 円

当日 15,000 円

また、第 33 回日本老年学会総会へ分配金 1,500 円/人（学生会員、名誉会員含めて全ての参加カテゴリーで）を納めることが決まったことが報告された。

○第 46 回日本基礎老化学会大会の収支シミュレーションが示された。

事前参加費 15,000 円、17,000 円、20,000 円、参加人数は 150 人の設定
支出は、パシフィコ横浜ノースのため、会場費などの運営費のみで 300 万円
（節約できない出費）、その他（講演料、配信費、印刷等）を併せて
5,250,000 円が報告された。

第 46 回大会の参加費を 20,000 円（分配金 1,500 円、ポケットプログラム含む）に設定してもよいか？

理事による意見

- ✓ 会場を変更できない以上、20,000 円でもやむを得ない。が、直前に IAGG2023 もあり、その参加費も高額なので参加を見合わせるケースも出てくるのでは。
- ✓ あくまで大会長の判断になるので、20,000 円でもよい。ただ、他の老年学会で参加するケースもでてくるのではないか。

- ✓ 学会運営を考えると、広告費や共催セミナーで企業から集める金額がなるべく少ない 20,000 円がよいのではないか。
- ✓ 運営できなければ上げるしかないが、20,000 円取るならば相当レベルの高い学会にしないといけない。
- ✓ いい発表を聞くことができる、ということの他に、何か参加するメリットがあった方がよい。事前申込はなくてもいいのではないか？
 - 運営側としてはある程度人数が把握できる事前申込は必要と思う。
- ✓ 学生などがたくさんいる研究室では出費はたいへんなことになる。
- ✓ 2 年に 1 回だけ参加する人が出てくるのでは？ 年によってあまりに参加費が違いすぎるのはよくないと思う。
- ✓ 上げてみてどうなるか、やってみた方がよい。
- ✓ 今回は参加費を上げるのは仕方ないが、今後どうするか、よく考えないといけない。
- ✓ 企業展示や広告を集めるのが難しくなっている。合同会の場合は、あちこちの学会で被ってしまうのもっと難しいと予想される。
- ✓ 実情を知れば仕方がないと思えるが、いきなり 20,000 円に上がるのは、学会員に事情をきちんと説明しないといけない。
- ✓ 社会状況を見ても上がるのは仕方がないと思う。
- ✓ 学会員に通知するとき、20,000 円で参加して貰えるかどうかアンケートをしたらどうか。
 - アンケートをやってみる。
- ✓ 1,500 円の上納金は今後も勝手に決まってしまうのか。
 - 合同会の大会長が決めることになってしまっているので、次回のことはわからない

3. 事務局からのお知らせ

会員事務、学会事務等についてのお問い合わせは以下の本会事務局へお願いします。本学会をより良いものにするためには会員の協力が不可欠です。学会への要望等についても遠慮なく事務局へお寄せください。お待ちしております。

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

(株)毎日学術フォーラム（委託先）内

FAX: 03-6267-4555

e-mail: secretariat@jsbmg.jp

【日本基礎老化学会入会のご案内】

入会希望の方は、日本基礎老化学会 web site
(<https://www.jsbmg.jp/contact/>) の入会申込フォームに記入し、事務局に送信してください。正会員は入会申込と会費の入金確認、学生会員は入会申込と学生であることを証明する書類の確認をもって、申込受付完了となります。
学生であることを証明する書類は、学生証などの PDF ファイルをお願いします。
尚、初回の会費納入はクレジットカードをご利用できません。銀行振込のみになります。下記振込口座に、年会費をお振り込み下さい。

【会費納入のお願い】

会費は正会員が 7,000 円（理事 15,000 円、評議員 10,000 円）、学生会員は無料（2021 年 4 月 1 日から）です。未納分は、会員マイページから確認できます。
※学生会員は毎年年度初めに、学生であることを証明する書類の提示が必要です。

【クレジットカード決済の場合】

会員マイページにログインし、クレジットカード決済ができます。
VISA マスター JCB AMEX 等
領収書のダウンロードもできます。

【銀行振込の場合】 ← 今年度から振込口座が変更になっています

銀行振込の場合は、振込者の名前が事務局に通知されません。お手数ですが、振込んだ際には事務局にお知らせください (secretariat@jsbmg.jp)。また、領収書が必要な場合も、その旨事務局にご連絡ください。

三菱 UFJ 銀行（銀行コード 0005）

大山支店（支店番号 187）

普通 0559515

名前（口座使用者）：日本基礎老化学会

みずほ銀行にお振込みの場合は、事務局までご連絡ください。

【基礎老化研究誌購読について】

学会年会費には、簡易印刷版（白黒版）基礎老化研究誌購読料が含まれています。フルカラー版は学会 HP からダウンロードしてご利用ください。全会員にはパスワードを配布しています。パスワードが不明の方は事務局 (secretariat@jsbmg.jp) にお問い合わせください。

【日本基礎老化学会の賛助会員のご案内】

日本基礎老化学会では、科学研究を通じて高齢化社会に寄与することをめざしています。学会の活性化や会誌の充実に努め、さらに、その基盤の強化をはかるべ

く、個人や企業を対象にして広く賛助会員を募っています。会費は一口、年 5 万円です。賛助会員には以下の特典があります。

- (1) 学会誌「基礎老化研究」冊子体を毎号お送りいたします。
- (2) 「基礎老化研究」に広告（A4 半ページ）を年 3 回無料で掲載します。

賛助会員の詳細は学会事務局にお問い合わせください。

【基礎老化研究誌への広告掲載について】

基礎老化研究誌では広告を募集しています。

1 ページ 5 万円で年 3 回掲載します。ご希望の方は学会事務局にメールにてお問い合わせください。

【入退会、休会、会費等】 (secretariat@jsbmg.jp)

入退会、休会、会費、その他不明の事がありましたら、遠慮なく事務局へお問い合わせください。また、大学の研究室や職場を離れた会員については、指導教官や上司から事務局へ連絡をいただけると大変助かります。

【退会について】

退会の処理を適切に行うために、下記の事項をお守りください。

- ✓ 退会の際は、日本基礎老化学会の会員マイページにログインいただき、【事務局へのお問合せ】の内容欄に、
1.氏名、2.ご所属、3.連絡先（E メール）、4.退会理由、をご記入の上、事務局にお送りください。
- ✓ 日本基礎老化学会の会計年度は 4 月 1 日～3 月 31 日となっています。従いまして、退会時が年度の途中の場合でも、その年度の年会費はお支払いいただくことになりますのでご了承ください。

【所属・連絡先等、登録内容の変更について】

所属、e-mail アドレス、住所など、登録内容を変更する場合は、会員マイページにログインし、ご自身で変更してください。よろしくお願い申し上げます。

4. 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定

年会

2023 年

第 46 回 日本基礎老化学会大会（第 33 回日本老年学会総会 7 学会合同会）

大会長：石神 昭人（東京都健康長寿医療センター研究所）

日時：2023 年 6 月 16 日（金）～18 日（日）

場所：パシフィコ横浜ノース（横浜市）

2024 年

第 47 回 日本基礎老化学会大会

大会長：福井 浩二（芝浦工業大学）

日時：2024 年 6 月頃

場所：芝浦工業大学豊洲校舎（江東区）

2025 年

第 48 回 日本基礎老化学会大会

大会長：堀田 晴美（東京都健康長寿医療センター研究所）

日時：未定

場所：未定

シンポジウム

2022 年

第 43 回 日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：小野 悠介（熊本大学）

日時：2022 年 11 月 19 日（土）

場所：熊本大学工学部百周年記念会館（熊本市）

テーマ：骨格筋研究の可能性 ～サルコペニア克服から個体老化制御まで～

<https://www.jsbmg.jp/symposium/>

参加申込が 9 月 1 日(木)より開始！

2023 年

第 44 回 日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：森 亮一（長崎大学）

日時：2023 年 10 月～11 月

場所：長崎大学医学部医学科キャンパス（長崎市）

2024 年

第 45 回日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：千葉 卓哉（早稲田大学）

日時：未定

場所：未定

***** 関連国際学会 *****

2023 年

IAGG2023 Asia/Oceania

Date: June 12-15, 2023

Place: Pacific Yokohama North

http://geront.jp/iagg/pdf/iagg2023_bid_for_yokohama.pdf

2025 年

The 23rd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2025)

Date: August 3-7, 2025

Amsterdam, Netherland

老化関連の国際会議や海外の老化研究施設をまとめた web site があります。

留学先や海外で開催される老化研究関連学会を探すのにご利用ください；

JenAge Information Center

<https://www.zaj.uni-jena.de/aktuell/aging+meetings+kalender>

5. 会員動向（2022 年 8 月 15 日現在）

正 会 員：250 名

学生会員：42 名

名誉会員：16 名

合 計：308 名

賛助会員：7 団体

購読会員：5 団体

6. 賛助会員一覧

下記の諸団体が賛助会員として本学会を支えています。協力を感謝いたします。
賛助会員は随時募集しております。事務局にお問い合わせください。
あなたの会社も賛助会員として老化研究を支えてみませんか？
入会をお待ちしています！

ココロ力株式会社

小林製薬株式会社

大正製薬株式会社

東洋レヂン株式会社

日本水産株式会社

(株) ファンケル総合研究所

マルサンアイ株式会社

[目次に戻る](#)



2022 年 8 月 15 日発行

日本基礎老化学会

企画・発行 日本基礎老化学会事務局

(編集 三浦ゆり)

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

(株)毎日学術フォーラム（委託先）内

Web site: <https://www.jsbmg.jp/>

E-mail: secretariat@jsbmg.jp

[目次に戻る](#)